

第46回 イスラーム教の誕生

1 イスラーム教の誕生

- ・イスラーム教は、7世紀初頭に（ ）に誕生した宗教である。
- ・この地では、古くからベドウィンと呼ばれる遊牧民が部族社会を築いていた。
- ・6世紀後半、（ ）と（ ）との対立が激化したため、「オアシスの道」や「海の道」の商品がアラビア半島を経由するようになった。
→南西部のイエメンや西部の（ ）が、貿易の中心地として栄えていった。

☆ムハンマド時代（622～632年）

- ・メッカに生まれた（ ）は、（ ）のハーシム家に属する商人として成功をおさめていた。
→610年ころ、唯一神（ ）の言葉をさずけられた（ ）として活動を始め、イスラーム教を創始した。
→（ ）年、ムハンマドとその支持者は、迫害を避けて故郷のメッカから、北の（ ）へ移住した。
※これを（ ）といい（ ）の元年とされる。
→イスラーム教徒の共同体である（ ）が作られた。
→630年、故郷のメッカを逆に占領し、（ ）を聖地とした。



ムハンマドと天使ガブリエル

マリアに受胎告知した天使と同じである。今回もかなり強引。ムハンマドの顔は描かれていないところに注目。



メッカのカーバ聖殿

カーバ神殿とも。元々は多神教の神々をまつる神殿であった。現在はイスラーム教の聖地として、年間300万人が巡礼で訪れる。観光では行けないのかな？

2 主なイスラームの教え

< =イスラーム教徒が信じる6つのこと>

- ・唯一神である（ ）を信じる。
- ・神の言葉を預かった預言者たちを信じる。
- ・アッラーの言葉を記した聖典である『 』を信じる。
- ・天使、最後の審判、定命を信じる。



コーラン

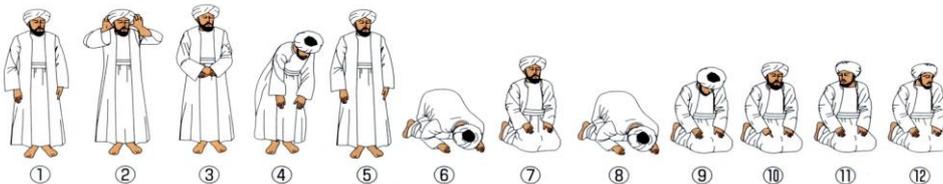
『クルアーン』とも。孫にコーランの読み方を教えるトルコ人。コーランとは「詠まれるもの」という意味で、声に出すのが基本。

< =イスラーム教徒が行う義務>

- ・信仰告白、礼拝、喜捨、（ ）、巡礼をすること。

礼拝の仕方

※③～⑥を2～4回繰り返す



サウジアラビア国旗
信仰告白の言葉が、そのまま国旗となっている。

- ・ () を飲むこと、() を食べることを、利子を取ることは禁止。
- ・ アッラーやムハンマドの像を作ったり拝んだりすることは禁止。
- ・ イスラーム教徒を () と呼び、聖職者は存在しない。



ムハンマドの風刺画

2005年、デンマークのある新聞に、ムハンマドの似顔絵を用いたイスラーム教に批判的な風刺画が掲載された。これは大問題を引き起こした。



エジプトのモスク

ムスリムは、1日5回の礼拝を行う。その際、可能であればイスラーム教の寺院であるモスクで礼拝することが、奨励されている。



ムスリムの人たち

トルコのモスク前の広場にて。一番右がイマームと呼ばれる人。あくまでも信徒の指導者であり、聖職者ではない。

2 ムハンマドの後継者たち

- ・ 632年にムハンマドが死去した後、() と呼ばれる後継者が選ばれ、イスラーム共同体(ウンマ)を指導した。
- ※選挙で選ばれた最初の4人のカリフを、() という。

☆正統カリフ時代(632～661年)

◆ () (在位 632～634年)

- ・ 初代カリフ。ムハンマドの親友であり、混乱を収めた。

◆ () (在位 634～644年)

- ・ 第2代カリフ。ビザンツ帝国からシリアやエジプトを奪った。
- ・ 642年、ササン朝ペルシアを() で破った。



ラクダに乗るウマル
ウマルは、4人の正統カリフのなかでは最も武闘派である。3つの宗教の聖地エルサレムも、彼の時代に征服した。

◆ () (在位 644～656年)

- ・ 第3代カリフ。ウマイヤ家の出身で一族の者を優遇したため、反発を受けた。
- ・ このころイスラーム教の聖典である『コーラン』が現在の形に編集された。

◆ () (在位 656年～661年)

- ・ 第4代カリフ。ムハンマドのいとこであり娘婿。ハワーリジュ派に暗殺された。

<イスラーム勢力の拡大>

- ・ 西アジアはビザンツ帝国とササン朝の長期に渡る抗争で疲弊しており、アラブ人中心のイスラーム勢力の侵攻に対抗できなかった。
- ・ このような征服活動は、イスラームを広めるための() とされた。
→ 征服した各地の重要拠点には、() と呼ばれる軍営都市が置かれた。
※イラクのクーファやバスラ、エジプトのフスタートなど。
- ・ キリスト教徒やユダヤ教徒は、() とされた。
→ 人頭税である() と土地税(地租)である() を支払えば、信仰の自由を認められた。